



お元気ですか
志村 たかよし です

第437号 2009年4月12日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

築地市場移転の再検討を求める請願に 都議会 自民・民主・公明が反対



汐留の超高層ビルから写した築地市場=09年3月29日

3月18日の都議会経済・港湾委員会で、「築地中央卸売市場の豊洲移転計画の再検討に関する請願」（請願代表は豊島区住民）が、自民・民主・公明の反対で不採択になりました。
日本共産党、生活者ネットは趣旨採択に賛成しました。

中央区では、「移転反対」を表明している民主党ですが、都議会では逆の態度をとっていることが明らかになりました。

「築地市場『移転』反対」「現在地再整備」を貫き通す日本共産党が、都議会で大きく伸びることが「築地市場現在地再整備」を突

現させる確かな道だとあらためて痛感しました。

「築地中央卸売市場の豊洲移転計画の再検討に関する請願」の内容
(請願代表は豊島区住民)

世界一の魚食文化を誇る日本で、築地市場は、基幹市場としての地位を長年保ち続けてきた。

現在、築地市場の豊洲新市場への移転が計画されているが、次の理由によって、移転を再検討すべきである。

1 豊洲新市場予定地の土壌及び地下水に、限定的な地点とはいえ、汚染が判明し、当地で取り扱う食品の安全性の確保が不可能となった。

2 都は、築地市場の現在地再整備は困難と述べているが、十分に可能と考えられる。

また、現在地再整備には以下のような大きなメリットがある。

(1) 市場周辺の都市機能集約がいかされる。

(2) 交通利便性が高い。

(3) 市場の歴史、築地ブランド、伝統がそのまま継承される。

これらことから、技術会議の設置や新技術・新技法の公募などの対策による現在地再整備について再検討するべきである。

市場の移転には、都民の血税による巨額の費用が掛かる。また、「食の安全」の観点からも、慎重かつ広範囲の検証がなされてしかるべきものと考ええる。

築地市場「移転」問題で全員協議会 都の姿勢を批判し、「現在地再整備」を要求しました



塩釜から入荷したマグロ＝築地市場

築地市場「移転」問題と豊洲土壌汚染問題について、区議会が東京都から説明を受けるための「全員協議会」が、3月27日に開かれ、都の関係職員約20名、中央区側は区長をはじめ幹部職員が出席しました。私（志村）は、都のデータ隠ぺい行為やウソの答弁をきびしく批判するとともに、流通センターとなる新市場をなりふり構わず豊洲に作るうとしていた都の背後に外資や大手スーパーが見える」と指摘しました。

の予算可決、市場業界6団体の合意などが必要であることを示し質問しました。

質疑応答の主な内容は…

「農水省は専門家会議、技術会議の結果をどう受け止めたのか」の質問に、「農水省の理解は得られていると思う」と答えたので「その根拠を示せ」と迫ったところが「報告書の説明をした」だけだったことが明らかになりました。

また、賛成派と反対派が激しく競り合った東卸理事長選挙について、新理事長（移転推進派）が「移転反対の声は広がっている」と言わざるを得ない事態について、農水省から「合意形成を図るよう」指導されたことなどを認めました。

さらに、豊洲新市場建設は、都議会で予算が否決されれば具体化できないことも認めました。

最後に、区長が予算特別委員会で「現在地再整備は規模の適正化や機能分散で可能」と発言したことを紹介し、期間と費用を縮小できる「現在地再整備」の私案を提示し、築地で再整備を行うよう強く求めました。

今年も桜が満開の季節に



佃公園では医療生協と年金者組合が餅つき大会＝4/5



新川の越前堀公園では、町会連合でお花見会＝4/4

「意見」「要望など、お気軽に」連絡ください(03)5330-0300